

結婚ってなんだろう?

仕事ってなんだろう?

入場無料

逃げるは 恥だが役に立つ

に学ぶ 幸福論

トークセッション

海野つなみ

umino tsunami

「逃げるは恥だが役に立つ」原作者

×

水無田気流

minashita kiriu

詩人・社会学者

【日時】平成 29 年

9月16日 土

18:00 ~ 20:00

(開場 17:30)

【場所】

静岡県男女共同参画センター

あざれあ

6F 大ホール



逃げるは恥だが役に立つ

に学ぶ 幸福論

家事の無償労働
愛情の搾取

夫婦
共同経営責任者
CEO

結婚ってなんだろう？
仕事ってなんだろう？
幸せってなんだろう？

「女だから、男だから・・・って言わないでよ」
「夫婦だから、これが普通なの？」

私たちは、そんなものに縛られたくない。

『逃げ恥』で「こうあるべき」の
“呪い”を解き放とう！



「逃げるは恥だが役に立つ」

大学院卒だけど内定ゼロ、さらに派遣切りであった森山みくりは、父親の元部下で独身の会社員・津崎と仕事としての「契約結婚」をします。夫=雇用主の津崎と妻=従業員のみくりは、一緒に暮らすうちに恋愛感情が芽生え・・・。

2016年にテレビドラマ化され大ヒット、社会現象を巻き起こした、海野つなみ原作の人気コミックス。



海野 つなみ umino tsunami

1970年、兵庫県生まれ。漫画家。
1989年、『お月様お願い』で第8回なかよし新人まんが賞にてデビュー。「なかよし」「Amie」を中心に作品を発表したあと、「mimi」「Kiss」へと活動の舞台を移す。主な作品に『Kissの事情』『回転銀河』など。2012年から「Kiss」で連載された『逃げるは恥だが役に立つ』は2016年TBSでドラマ化され、社会現象となった。

水無田 気流 minashita kiriu

1970年、神奈川県生まれ。詩人・社会学者、國學院大学教授。
詩集に『音速平和』（中原中也賞）、『Z境』（晩翠賞）。評論に『黒山もこもこ、抜けたら荒野 デフレ世代の憂鬱と希望』（光文社新書）、『無頼化した女たち』（亜紀書房）、『シングルマザーの貧困』（光文社新書）、『母と娘はなぜこじれるのか』（NHK出版）、『非婚ですが、それが何か！？』（ビジネス社）、『居場所のない男、「時間」がない女』（日本経済新聞出版社）。本名・田中理恵子名義で『平成幸福論ノート』（光文社新書）など。

【定員】 300人（先着順／事前申込必要）

逃げるは恥だが役に立つ に学ぶ 幸福論 参加申込書

ふりがな 氏名	住所	〒
TEL	e-mail	

FAX : 054-251-5085

【お申込み・お問合せ】

特定非営利活動法人

静岡県男女共同参画センター交流会議

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

TEL : 054-250-8147

e-mail : azarea.nigehaji@gmail.com (申込専用メール)

URL : http://www.azarea-navi.jp



申込フォーム